



蘭越高校通信

rankoshi senior high school

vol.027

文責 教頭 大堀

就職希望者及び進学希望者動き出す

9月5日(火)から全国一斉に各企業に就職試験応募書類の受付が始まりました。

また、9月13日(水)に就職壮行会が行われ、奈良校長先生や関根進路指導部長から激励の言葉をいただき、9月15日(金)から全国一斉に就職試験が始まりました。

さらに、9月8日(金)に進学希望申込が締切をむかえ、進学希望者も本格的に動き出しました。

らんこし米テレビCM撮影実施

9月6日(水)に本校でらんこし米のCM撮影が行われました。過去蘭越高校のCM撮影は平成17年度に行われ、今回で2度目になります。

放送はSTVで9月29日(金)から10月13日(金)の間で放映さ

れます。

芸術鑑賞実施

9月8日(金)倶知安高校で行われた芸術鑑賞に本校生徒全員が参加しました。

今回は落語鑑賞で、寄席入門、講談、落語と日本の伝統文化に触れ、話芸等に親しんでいました。

環境講演会実施

9月12日(火)6校時、倶知安観光協会会長吉田聡様を講師に迎え、環境講演会を行いました。

今回の講演会は「ニセコエリアにおける観光業を中心とした社会状況」と「地域外人から見た地域の利点を把握し、持続的に地域を保全する視点」について講演されました。

後期生徒会役員選挙実施

9月15日(金)に後期の生徒会役員選挙が行われました。

後期からは1、2年生中心の生徒会役員となり、3年生は事実上生徒会役員からは引退となり世代交代となりました。



3年生の生徒会役員の皆さん1年間ご苦労様でした。

商業教育フェアに初参加

9月15日(金)から16日(土)の2日間、3年生情報ビジネスコースの6名が新さっぽろサンプラザ光の広場で行われた

北海道商業教育フェアに参加しました。32校が参加する開会式で、決意表明を3年生の塚原梨緒さんが務めました。他校の販売実習の様子を知ることで、改めて販売促進を学ぶことができました。

インターシップ実施

9月20日(水)から21日(木)の2日間、2年生全員が蘭越町、黒松内町や倶知安町の保育園やホテル、デイサービスセンターなどでインターシップをさせていただきました。

この2日間にわたるインターシップで、生徒たちは実際に社会で働くことに必要なことなど多くのことを学び、とても前向きに2日間取り組みました。

チャレンジオータムに参加

9月23日(土)、情報ビジネスコース有志生徒10名と理科同好会会員3名が札幌大通公園西11丁目で行われたオータムフェスト内のチャレンジオー

タムに参加しました。札幌を代表する大きなイベントで一般の店舗が出店する中、一生懸命販売実習を行ってきました。途中、大雨が降りましたが営業時間の最後まで大きな声で頑張りました。

薬物乱用防止教室実施

9月25日(月)、北海道厚生局麻薬取締部面接指導官の方を講師に迎え、薬物乱用防止教室を実施しました。

まず奈良校長の講師紹介のあと、講師の澤口氏から、薬物の種類や薬物乱用のきつかけ、さらに薬物に絡む犯罪や社会的被害の具体例について、スライドを使用しつつ丁寧に説明していただきました。

講演を聞いた生徒からは、「覚せい剤などの薬物についてわからないことがあったけど、その怖さが良くわかった」「触まれた体のスライドを見て衝撃的だった」などの感想がありました。



イチオシ! まつりで

「蘭棒」大盛況!!

9月1日から3日までの3日間、真駒内セキスイハイムスタジアム（札幌市）を会場に「HTBイチオシ!まつり」が開催され、蘭越町商工会が地元食材を使ったグルメ開発の一品「蘭棒（らんぼう）」が会場内で販売されました。

「蘭棒」は、らんこし米・塩トマト・手作り南蛮味噌の3つのこだわり食材を使用しています。塩トマト入りキーマカレーと南蛮味噌に卵をまぜたらんこし米で巻き、油でカリッと揚げました。

今年7月に「蘭越せせらぎまつり」で販売された試作品からさらなる進化を遂げ、辛みを抑え、より味に深みとまろやかさが加わっています。



イチオシ!まつりでは、蘭越ブースで販売された「蘭棒」3500本が完売するほど大盛況で、たくさんの方の行列ができました。今後は、町内の飲食店や宿泊業者、道の駅などでも販売する予定です。なお、街の茶屋では、9月16日から一日限定30食ではありますが、「蘭棒」の販売が始まっています。価格は一本400円。みなさんも是非一度、その味を確かめてみてはいかがでしょうか。

9月23日、蘭越町役場庁舎前にて原料米出発式が開催されました。



原料米は、特別栽培米「ゆめびりか」の玄米800kgで、小樽市の田中酒造へ輸送。出発に先立ち、金秀行町長から「蘭越の新たな特産品として生まれ変わることを楽しみにしています」と激励のあいさつがありました。

蘭越地酒プロジェクト 「蘭越 ゆめ絆」

ネーミングの「蘭越 ゆめ絆」は、46件の公募の中から委員が選考。「このお酒を通じて、これからもみんなで力を合わせ、色々な夢を繋いでいこう」という願いが込められています。

原料米は、蘭越町の黒川利光さんが作った玄米「ゆめびりか」を、醸造用水は蘭越町の昆布浄水場の水道水を使用します。

香味はフレッシュで柔らかな口当たりの吟醸香（フルーティー）の香りがするすっきりとしたやや辛口純米吟醸酒となる予定です。

また、「蘭越 ゆめ絆」の醸造過程で出た酒粕を使ってらんこし米の甘酒の製造も予定しており、お酒を飲めない子供や女性への蘭越土産となるよう、地酒とセットの購入も視野に入れた相乗効果も期待しています。

11月下旬に完成披露会開催を予定しており、披露会后、先行予約オーナーへ引渡し、販売を開始していくこととされています。